

写真甲子園、フォト・フェスタ、どんとこい祭り

夏が来た！祭りだ！写真だ！どんとこい

8月、町内は写真の祭典・フォトフェスタとどんとこい祭りでこの夏二番のにぎわいを繰り広げました。フォトフェスタは「第22回写真甲子園」「第31回東川町国際写真フェスティバル」に加え、「高校生国際交流写真フェスティバル」が新たに加わり、国内3チームを含め11か国・地域の高校生チームが祭り風景を「激写」。国際色豊かに夏のお祭りが弾けました。



写真甲子園実行委員会主催の第22回全国高校写真選手権大会「写真甲子園2015」は、8月4日から7日まで4日間、東川、美瑛、上富良野、東神楽、旭川の5市町を撮影地にして開催しました。

予選応募校は、3年連続500校を越えて514校という多さ。全国11ブロック別の予選を経て出場を勝ち取った代表18校の高校写真部の選手が3日間の撮影と審査を通して夏を切り撮り、写真作品を競いました。

今年には写真甲子園とは別開催で初の「高校生国際交流写真フェスティバル」を開きました。

出場したのは、東川町と姉妹都市、文化交流などで絆がある海外10か国・地域の高校生チームと、国内からは北海道帯広工業高校、同北広島高校、茨城県立土浦第一高校の3チーム合わせて13チーム。町内市街地を撮影ステージにして、3日間の写真作品作りと交流を楽しみました。

どんとこい祭りは、好天に恵まれて前夜祭の大火火大会に人が操り出し、昨年を上回る人出で大混雑。美しく夜空に舞う夏の夜の饗宴に歓声が沸きました。祭り期間中好天が続いて人が止まず、夏祭りを楽し

む家族連れでにぎわいました。

写真甲子園、優勝は沖縄県立浦添工業高校が3年ぶり2回目

グランプリは4年連続5回目出場の沖縄県立浦添工業高校。町民特別賞で東川米1俵(60キログラム)も手にして二重の喜び。名前が呼ばれると「えっ？」と3人そろって信じられない様子で壇上へ。「緊張しすぎて表情が固まってしまった…」
「主将の宮平愛美さん(3年)!!」

「2012年に優勝して以来。4年前はテレビとDVDで観ていた。それが現



優勝した沖縄県立浦添工業高校(右から佐和田星さん、普天間暁月さん、宮平愛美さん)

実になるなんて…。沖縄の人たちにお返しできて良かった。思っていたより広くて、庭先がすごい広くて、

広い畑が新鮮だった。今年の町民特別賞も受賞して喜びひとしお。今年も撮影した川瀬初枝さん

(96)の元気な姿が再度作品にも登場しました。「川瀬のおばあちゃんか家で応援に来てくれてうれしかった」。

2年生の佐和田星(ゆかり)さんは「途中で体調悪くしちゃったけれど、撮っていて話が弾んでいくとうれしかった。人とのコミュニケーションの大切さを

シヨンの大切さを